

2022年6月22日 第151回運輸政策コロキウム(中川次長、萩原研究員)

奥田専務 閉会挨拶

紹介がありました、専務理事・ワシントン国際問題研究所長の奥田でございます。本日、運輸政策コロキウム・ワシントンレポートを開催致しましたところ、大変多くの皆様にご視聴いただきましてありがとうございました。

今日のレポートは「アメリカ航空産業の現状と今後の展望」、「欧米空港における顧客体験向上に向けた取組の先進事例」という二部建てのテーマで、ワシントン国際問題研究所の中川次長及び萩原研究員から発表させていただきました。

まず、中川次長から、「アメリカの航空市場は、どこまで回復しているのか」「回復の過程で、連邦政府や航空会社はどのような対応をとってきたのか」「アメリカの航空産業が抱える課題と今後の展望」の3つの観点から、アメリカ航空市場の最新動向について報告いたしました。また、萩原研究員からは、チェックインから搭乗まで様々な主体が実施する空港のプロセスを、入国時及び出国時ともに、できる限りスムーズにするための取組みとして、顔認証技術を活用した「顔パス」事例や CT スキャナーを使ったより精度の高い保安検査の事例など、アメリカを中心に、ヨーロッパその他の先進事例をご紹介いたしました。

これらの報告について、山内所長からアメリカの航空関連の競争政策が今後様々な市場で起こりうる業務提携にどのような意義を与えるかの点をはじめ、大変、示唆に富むコメントを頂きますと共に、東京国際空港ターミナル株式会社の生沼部長から羽田において導入しておられる Face Express の事例のご紹介を通じまして、顧客の利便向上や、動員を取って対応すべき課題についてコメントをいただきました。ありがとうございました。

その後山内所長のコーディネートで、生沼部長、中川・萩原両発表者の間でディスカッションを行いましたけれども、ご視聴いただきました方々からのご質問への回答を含めまして、有意義なものになったのではないかと考えております。

私共のワシントン国際問題研究所といたしましては、今後も航空関係のテーマをはじめ、アメリカを中心とする交通運輸観光関係のテーマについて更に今後ヨーロッパにもレンジを広げながら調査研究を進めて参りたいと思っておりますので、本日ご視聴いただきました皆様方をはじめ、関係の方々のご支援ご指導何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、研究所では、2003年から毎年、定点観測的に、アメリカ航空産業に係る様々なデータ分析を通じて、その現状と今後の展望について調査報告をし、毎年その成果を出版し販売させていただいておりますが、今年版も出版させていただきまして、今日から販売をさせていただきたいと思っております。ご関心のおありの方々は、是非私ども図書館の方にお問い合わせいただければと思います。

結びに当たりまして、ご参加頂きました皆様方への毎度のお願いでございますけれども、この後アンケートを送信させていただきますので、今日のコロキウムの内容でありますとか、今後私どもの研究所で取り上げるテーマなど、お感じになっていることを何なりとお寄せをいただければ大変ありがたく存じますので、少々、お時間を頂戴できれば幸いです。私どもは皆様からの貴重なご意見を、今後の業務の改善に生かして参りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後にワシントン国際問題研究所の活動は、日本財団の全面的なサポートのもとに実施をさせていただいております。

この場をお借りして日本財団にも感謝を申し上げまして、私からの閉会の挨拶とさせていただきます。

今日はどうもありがとうございました。

(以上)